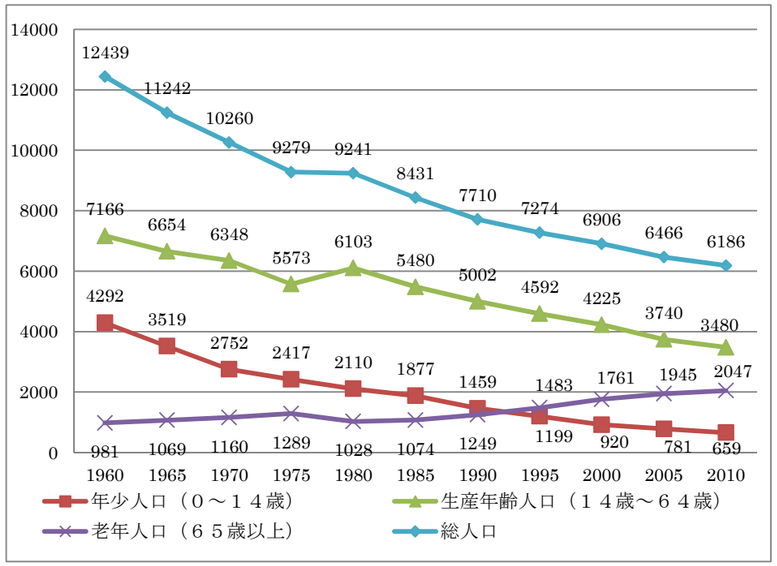
ま ち づ く り 情 報 誌

№31　　２０１５．１１．２０　発行　まちづくり総合戦略室

特　集　今金町人口ビジョン・総合戦略（素案）の概要

今金町の人口動向～年齢３区分人口推移



◆本町の総人口は一貫して減少傾向にあり、2010 年の総人口は、1960 年と比べ 6,253 人（50.3%）減少しています。

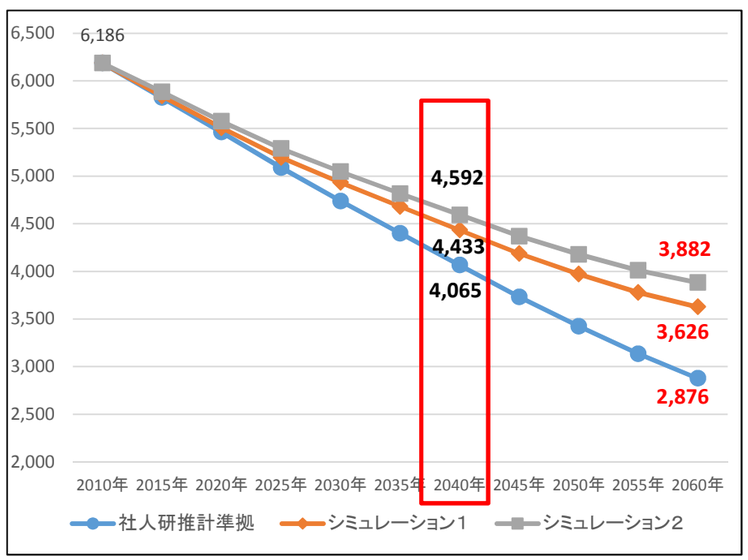
◆1985 年から生産年齢人口は減少に転じた。1990 年後半に老年人口が年少人口を上回り、その後も増加を続けています。

◆2013 年の自然増減は－48 人、社会増減は－25 人となっている。

※自然増減　出生数―死亡数
※社会増減　転入数―転出数

人口の将来展望

・国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後、何も対策を講じない場合には 2040 年の人口は 4,065 人となる。今後、自然減、社会減の両面への様々な施策展開をすることにより、合計特殊出率が向上し、転出超過が抑制された場合 2040 年時点で 4,592 人、2060 年には、3,882 人の人口が維持される見通し。



2012 年　今金町合計特殊出生率 1.39

シミュレーション１

パターン１において、合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準）である 2.1 まで上昇したと仮定した場合

シミュレーション２

パターン１において、合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準）である 2.1 まで上昇し、かつ人口移動が均衡した（転入・転出数が同数となり、移動がゼロ）と仮定した場合

基本戦略

本町における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指すこととするため４つの基本目標をもとに施策展開を進めていくこととします。

【戦略の基本コンセプト】

本町の魅力を活かし、安心して働き、子育てができ、住み続けられるまちの実現のため、『福祉と地域産業』を調和させる仕組構築など人口減少対策に直結するアイディアを絞り込んで重点施策を進めていく。

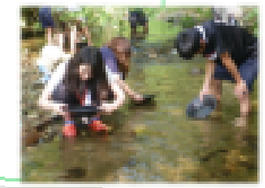
基本目標１　今金町における安定した雇用を創出する

- ◆ 障がい者が地域産業の担い手としての活躍の場づくり
- ◆ 地域の特性を活かした産業連携によるモノづくり産業の振興
- ◆ 空家・空店舗等を活用した起業支援や情報発信
- ◆ 農林業における新規就農者の促進
- ◆ 担い手の育成対策の強化
- ◆ 求人情報の提供と発信
- ◆ 産業後継者の育成奨励
- ◆ 足腰の強い地域産業構造の構築
- ◆ 多様な人材の活躍の推進



基本目標２　今金町へ新しいひとの流れをつくる

- ◆ 町の拠点施設の整備によるまちの顔づくり
- ◆ 観光資源の発掘と地域特産品の活性化
- ◆ 地域の再生を加速させる
- ◆ 定住移住対策に係る条件整備
- ◆ スポーツによる交流推進
- ◆ 地域おこし協力隊への支援対策の推進
- ◆ 大学など連携活動の展開
- ◆ 中心街のにぎわい創出支援



基本目標３　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆ 積極的な結婚支援や社会気運の醸成
- ◆ 町の特色を活かした子育て支援の推進
- ◆ 教育環境の整備による教育力の向上
- ◆ 子育て支援による働きやすい環境をつくりだす



基本目標４　地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

- ◆ 独自の自然・歴史資源の発信による地域の魅力向上
- ◆ 若者まちづくり活動支援
- ◆ 現在の生活基盤の維持のための支援の実施
- ◆ 広域連携による経済の活性化
- ◆ 地域ぐるみによる防災体制の充実
- ◆ 地域コミュニティの活性化
- ◆ まちのインフラの長寿命化・公共施設の維持管理の最適化
- ◆ 緊急時の医療の確保と地域医療等の充実

